

# 「2023 技術人材養成教育」の講師募集

当財団では、2012 年度から製造現場の経験とノウハウが豊富な日本のベテラン技術者を活用し、企業現場の隘路技術を分析し、解決策を提示する「技術人材養成教育」を実施しております。これまで同技術人材養成教育に 747 名が参加し、韓国企業が直面している技術的困難の解消及び技術人材の資質向上と力量増進に努めてきました。

そこで、今年も韓国企業の需要が多い 7 つの分野を中心にする技術人材養成教育を計画中です。

下記の実施計画(案)をご検討の上、同プログラムの講師として参加をご希望する方は添付の**別添 1. 講師志願書**の提出をお願いします。

○ 講師募集規模: 各課程別 1 人    ○ 志願書提出期限: 3.10(金)    ○ 講師選定結果案内: 3.24(金)

## 「2023 技術人材養成教育」実施計画(案)

### 1. 目的

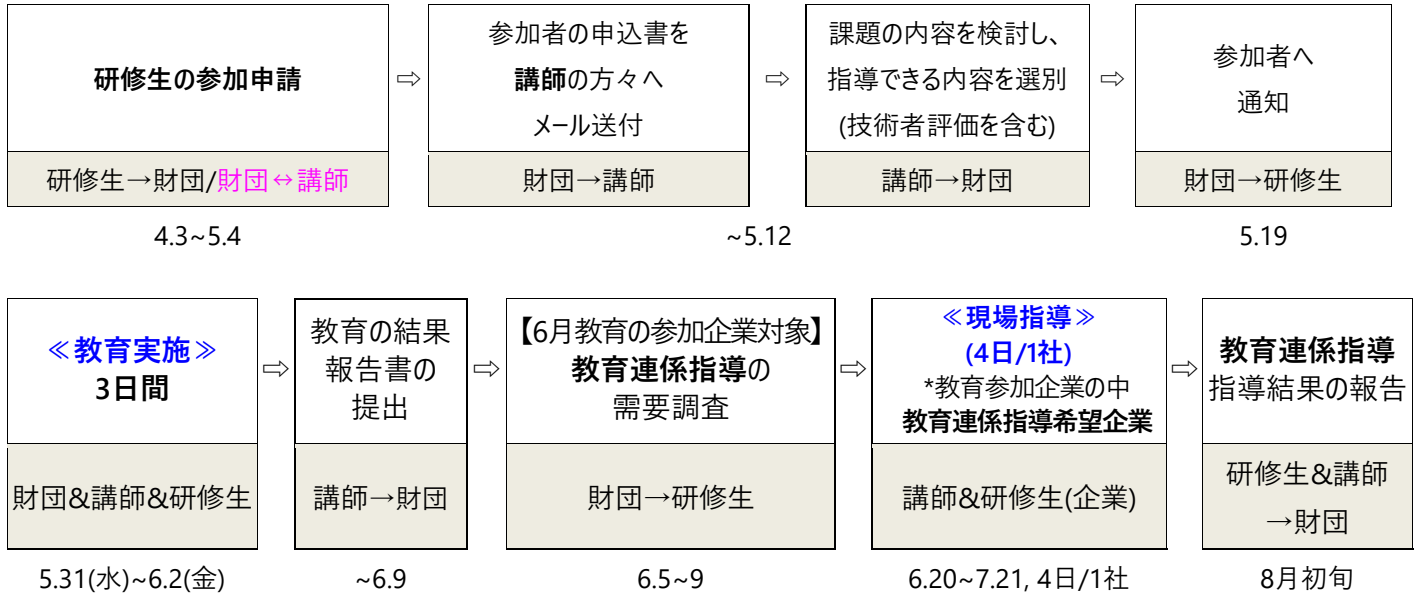
- 韓国企業の技術的な問題点を分析し、解決方法を模索することで中堅・中小企業における技術人材の資質向上を図る。

### 2. 概要

- 内容：企業の在職者を対象に実施する技術分野別の現場実務中心の技術者教育
- 日付：2023年5月31日(水)~6月2日(金) \* 来韓 5.30(火)、渡日 6.3(土)
- 場所：(韓)京畿道(キョンギド) ソウル大学始興キャンパス研修棟
- 対象：中堅・中小企業の役職員 40 名
- 開設課程：7 つの科目
- 進行：合宿教育(講師、企業、通訳、韓国専門家など参加者全員合宿形式)、逐次通訳
- 報酬：講師料 20 万円(資料準備など、講義に必要な準備時間に関する謝礼を含み)
- 往復渡航費は実費：来韓 5.30(火)、渡日 6.3(土)

※ その他、出入国の際、必要な検査費用の実費(講師から領収書を持って請求がある場合)

### 3. 推進日程



### 4. 課程及び詳細日程

○ 募集課程：課程別 6~7 名

- ①マーケティング(海外市場進出) ②生産(工程)管理及び品質管理 ③ 自動化(FA) ④化学素材(合成樹脂/ゴム) ⑤金型/金型設計 ⑥機械加工(切削/設計) ⑦射出成形(プラスチック)

○ 構成

区 分		内 容	時間
日本技術者	理論講義	○ 企業の専門技術と現在の技術レベル向上に必要とされる技術教育	2H
	事例研究	○ 現場での技術的隘路事項を解決するための課題別指導教育 - 研修生課題(企業が事前に申込書に作成して提出)に関するご指導 +他の研修生の意見交換→討論形式	11H
韓国専門家	現場改善教育	○ 現場管理に関する現場改善教育など	2H
改善案整理 (研修生)		○ 課題指導から導出された改善案の個別整理 -教育内容整理及び発表資料(PPT)作成	1.5H
結果発表会 (課程別)		○ 問題点解決案発表及び総評 -各研修生別課題改善案を発表	2H

※ 陰影がある部分が日本講師が主に参加する時間です。上の項目以外にも5/31(水)開会式等もありますので、詳細事項は次のページをご参照下さい。

○ 日程

陰影がある部分は日本講師の参加が必要です。

授業時間は1時間当たり50分の講義10分の休憩ですが、自由に課程別調整可能です。  
(教育の効果のために理論講義、事例研究の時間の割り当ても調整できます。)

日付	時間	内容	時間	備考
5.31(水)	11:30~12:00	<b>【開講式&amp;全体 OT】</b> 主管機関、講師、通訳の紹介及び日程案内 - 開会式が終わったら、昼食の後、13:00までに <b>各課程別の該当講義場に移動</b>	0.5H	全課程
	13:00~13:10	<b>【課程別 OT】</b> 名刺の交換及び自己紹介 & 課程別講義の進め方協議	2H	
	~15:00	<b>【理論講義】</b> 現場で必要とされる基礎知識などの理論講義 (事前に送って頂いた PPT 資料は翻訳→資料集制作して <b>当日配る予定)</b>		
	15:00~18:00	<b>【事例研究】</b> 研修生が自分の課題(ネック技術)を簡単に紹介、共有(各2~3分) 研修生別の個別課題に対する順次指導及び討論		
6.1(木)	09:00~12:00	<b>【事例研究】</b>	3H	
	13:00~16:00	<b>【事例研究】</b>	3H	
	16:00~18:00	<b>【現場改善教育】/補助講師</b> 現場管理に関する韓国専門家の講義	2H	
6.2(金)	09:00~11:00	<b>【事例研究】</b>	2H	
	11:00~12:00 13:00~13:30	<b>【改善案整理】</b> (研修生自習)課題指導から導出された改善案の個別整理	1.5H	
	13:30~15:30	<b>【結果発表会】</b> 発表及び質疑応答、総評など <b>【各課程】 各課程別研修生が発表：約15分</b> ① テーマ名 ② 現状・問題点 ③ 改善及び解決方 ④ 総評 ⑤ 質疑応答	2H	

## 5. ご提出

\*講師 → 韓日財団

### ○ ご提出

区 分	内 容	備 考
理論講義 資料	○ 約 2 時間(逐次通訳を含む)分量の理論講義資料 *20ページ以内	5/12(金) までに

### ■ 事務局の連絡先

チーム長	李炳國(イ・ビヨングック)	<a href="mailto:bkleee@kjc.or.kr">bkleee@kjc.or.kr</a>	☎ +82-2-3014-9812	
部 長	金 瑋(キム・タク)	<a href="mailto:tkim@kjc.or.kr">tkim@kjc.or.kr</a>	☎ +82-2-3014-9801	【担当】
代 理	車恩英(チャ・ウンヨン)	<a href="mailto:eycha@kjc.or.kr">eycha@kjc.or.kr</a>	☎ +82-2-3014-9815	
研究員	權輿彬(グォン・ヨビン)	<a href="mailto:ybkwon@kjc.or.kr">ybkwon@kjc.or.kr</a>	☎ +82-2-3014-9814	